

# 明日のハナコ

作 玉村 徹

キャスト

小夜子 (さよこ)

ハナコ

\*ホリゾント幕が上がっている。平台や箱馬が丸見え。

小夜子、大道具を作っている。アニメの歌を歌いながら、遠くから部活動の声。

通りかかるハナコ。下校途中。通り過ぎる。

小夜子 ちよいちよーい。

ハナコ え。

小夜子 ここはなんか突っ込もうよ。

ハナコ いや、

小夜子 すっげえ面白いのを一発お願いします。

ハナコ いや急にそんなこと言われても、

小夜子 はいどうぞ！

ハナコ いやだから、

小夜子 はいどうぞ！

ハナコ いや、

小夜子 はいどうぞ！

ハナコ ええと・・・ジブリファンに謝れ。

- 1 -

\*死のような沈黙。

ややあつて小夜子、大道具を作り始める。

ハナコ おい！ スルーすんなよ！

小夜子 えっと、これが一八〇cmだからええと、

ハナコ ああそう！

\*ハナコ、帰ろうとする。

小夜子 ちよいちよいちよーい。

ハナコ なによ。

小夜子 相変わらず気が短い。

ハナコ だから何よ。

小夜子 久しぶりだね。

ハナコ うん。

小夜子 元気してた？

ハナコ うん。

小夜子 もう帰るの。

ハナコ うん。

小夜子 帰って何するの。

ハナコ 何って、

小夜子 だって時間余るでしょ。こんな早くから帰って何するの。

ハナコ 何やってんの。

ハナコ 何って、いろいろだよ。

小夜子 勉強？ まさか。

ハナコ なにそれどういう意味よ。

- 2 -

小夜子 してるの？

ハナコ してないけど。

小夜子 やっぱりね。

ハナコ なんだよ。

小夜子 どうせつまんねーゲームでもやってんだろ。

ハナコ あたし帰る。

小夜子 ちよいちよいちよいちよーい。

ハナコ うるさい。

小夜子 あたしもおんなじだから。

ハナコ え。

小夜子 あたしもおんなじことするだろうって思うから。

ハナコ ……。

小夜子 ね、時間あるなら、ちょっと手伝ってくんない。

ハナコ え。

小夜子 あんた、ノコギリ、得意だったじゃない。

ハナコ え。

小夜子 なんかうまくいかないんだよなー。まっすぐ切れなくて。

ねえ、頼むよ。

ハナコ ……少しだけなら。

小夜子 ありがと。ここ切って。ここ。

\*ハナコ、荷物を置いて、

ハナコ どこ。ここ？ ここ切ればいいんだね。

\*ハナコ、切る。

- 3 -

小夜子 さすがー！ 上手ー！ 切り口からして美しい！ ノコギリ職

人！

ハナコ あと、何よ。

小夜子 あ、じゃあこれもいい？

ハナコ 貸しな。

小夜子 (小声で)ちよろいな。

\*ハナコ、切りながら、

ハナコ 何やるの、今度は。

小夜子 え。

ハナコ 防犯シアターだろ、これ。

小夜子 うん。その大道具。

ハナコ 何やるの、今年は。

小夜子 興味ある？

ハナコ ない。

小夜子 あるでしょ。

ハナコ ない。

小夜子 ほんとはあんた、劇好きだから、

ハナコ これ細切れにしてやるうか。

小夜子 わ、わー。

ハナコ 小夜子 ええとね、ある男の子がいじめられてるわけ。それですっごく

つらくて、いっそ死んじゃおうって思って、校舎の屋上に行くわけ。そこで別の男子に出会って、彼らは協力していじめに立

- 4 -

ち向かおうとするわけ。  
そんでこれ。

\*台本を手渡す。

ハナコ なに。

小夜子 これ、読んで。

ハナコ なんだあたしが、

小夜子 あんたうまいじゃん、朗読。もう才能。天才。なんか嫉妬しち

やうなー。ねえ、お願いー。

ハナコ ・・ちよつとだけなら。

\*照明変化。

音楽。

ハナコ ほら、たくさん家やらビルやらあるだろ。

こつからだどちっちゃなオモチャみたいに見える。あの中には  
たくさん人間がつまってた。ちっちゃなオモチャみたいな人  
間が。ご飯作って、洗濯して、掃除して、働いて。

あの中にオレの親父がつとめていた会社があった。

建設系の会社でさ、親父はその係長だった。

ある時、会社は新しく道路を造る仕事を請け負った。何十億っ  
てお金が動く、でっかい仕事だ。うまくいけば会社は大もうけ  
できる。社員もたくさん給料がもらえる。

でも、その道路は自然保護区のすぐそばを通ることになってた。  
それでどうやってもその道路は環境破壊になってしまうことが

- 5 -

わかったんだ。なんとかっていう絶滅危惧種の鳥がそのへんに  
生息してたらしい。

親父はそれを上に報告した。

そしてもちろん、握りつぶされた。

そりやそうだ。何たって何十億だからな。

会社の中で、親父に味方するヤツは一人もいなかった。

でも親父はバカだった。

そのレポートを新聞社に持ち込んだ。自然保護団体に持ち込ん  
だ。ネットにアップした。

大騒ぎになった。

道路の計画は中止になった。

何とかって鳥は助かった。

そして親父は会社をクビになった。

親父はバカだと思う。大馬鹿だと思う。

学校の中でこんだけイジメが起きてるんだぜ。

そんでみんなその学校を出てるんだ。

だから会社にイジメがあるのは当たり前だ。

だからこの世界にイジメがあるのは当たり前だ。

だから、オレはときどき、この全部を踏みつぶしたくなるんだ。

\*音楽終わり。

照明変化。

小夜子 で、いま校舎の屋上の柵を作ってるわけよ。

ハナコ ふうん。

小夜子 あ、そっち持って。

- 6 -

ハナコ うん。

小夜子 ええと、九cm間隔なんだから、九cm(角材に鉛筆で印をつける)、  
にく一八cm、さんく二七cm、ええと、しく三六cm、ええと、ご  
く、ごく、ごく、ごく、ごく、

ハナコ おいおい。

小夜子 ごく、ごく、ごつく七二、

ハナコ なんですだよ。

小夜子 ごつく六三？

ハナコ 四五cm！ ごつく四五だろ！

小夜子 算数苦手なのだよ。

ハナコ 苦手なんてレベルじゃねえよ。

小夜子 四五cmと。ろつく、ろつく、ろつく、

ハナコ 五四！ あんたどうやって高校入った！

小夜子 そうそう五四cm。あたしら、いいコンビよね？

ハナコ どこが！

小夜子 えと、ここに角材をネジ止めするわけなんだけど、ええと、ド

ライバーはどこかな、

ハナコ ちよつと。

小夜子 えなに。

ハナコ なんであんたが大道具作ってるのよ。

小夜子 なんですって、

ハナコ 一番作らせちゃいけない奴だろ、あんたは。

小夜子 あ、あのね、

ハナコ 他にいないの、誰かまともな奴は。

小夜子 いやだからその言い方が、

ハナコ 高校生にもなって九九もできない奴をまともとは言わない。

- 7 -

1年はどうしたの。新入部員は。

小夜子 あいつらは、まあ、いいじゃない。

ハナコ はあ？ 何言ってるのよ。

小夜子 やっぱほら、一年生には、その、こういう大切な装置は、まだ  
ちよつと早いっていうかなんていうか。

ハナコ じゃ2年生は。2年生なら、あんたよりマシなヤツいるだろ。

亜紀ちゃんとか由美とかよーちゃんとか。

小夜子 亜紀ちゃんは、その、今日は、都合が悪くてさ。

ハナコ 都合？

小夜子 その、えと、た、旅に出てるの。

ハナコ 旅？

小夜子 うん、自分探しの旅。自分ってなんだろう、今までの自分を捨てて、新しい自分になろう、ほんとの自分を目指そう。亜紀ちゃん、そういう心の旅に出てて。

ハナコ じゃ由美は。由美はどうしたの。

小夜子 由美は修行してる。

ハナコ 修行？

小夜子 ほら、あいつ、昔から空手の道場に通ってるじゃない。あれであいつ、有段者なんだよ。まえに電車の中でチカンしてきたおっさんのあばら骨を粉砕したじゃん。

ハナコ そんなことあった？

小夜子 でもほら、こないだテレビで「もののけ姫」やってたじゃない。ジブリの。あれ見てあいつ、今度はタタリガミを退治するんだって、でも今の自分の力じゃ無理だから修行してくるって、それで先週から山にこもって修行してる。

ハナコ じゃよーちゃんは。

- 8 -

小夜子 よーちゃんは、ええとよーちゃんは、  
ハナコ この前電話したら家にいたけど。

小夜子 いたでしょよーちゃん。いるんだよよーちゃん。よーちゃんは家にいるんだよ。

ハナコ じゃなんで学校に来ないんだよ。

小夜子 それは、その、よーちゃんは、よーちゃんは今、脱皮してるところで。

ハナコ 脱皮！

小夜子 アイツの家族はみんなそうらしいよ。しらなかつた？ みんな年に一回は脱皮するんだよ。そこでちよつとずつ大きくなるんだ。でも脱皮したあとは皮膚がまだ新しいから太陽光線に弱くて、だからしばらくは家の中にいなくちゃいけないらしいんだね。昨日行ってみただけどさ、昼間っからカーテン締め切つて家の中真っ暗でさ。もう参つたよ。・・・聞いている？

ハナコ 聞いている。

\*ちよつと間。

小夜子 あのさ。

ハナコ なに。

小夜子 戻ってきてくれない？

ハナコ 無理。

小夜子 そこをなんとか。

ハナコ 無理。

小夜子 どうせ暇なんでしょ。

ハナコ 無理。

小夜子 演劇好きでしょ。

ハナコ しつこい。

小夜子 いやだからさ、

ハナコ 帰るぞ。

小夜子 はいはい。もう言わない。

\*遠くから運動部の練習の声が聞こえてくる。

作業をハナコに任せて、小夜子、ノートに書き始める。

ハナコ、気がついて、

ハナコ なにやってんだよ。

小夜子 あ、次の話をね。

ハナコ 次のつて？

小夜子 演劇祭。

ハナコ もう考えてるの？

小夜子 うん。

ハナコ こんな状況で？

小夜子 こんな状況つて？

ハナコ あんたが勉強苦手な理由がわかった気がする。

小夜子 あ、聞いてくれる？

ハナコ いや特に聞きたくは、

小夜子 そうか、ありがとう、

ハナコ いや別に、

小夜子 むかし、ばあちゃんから聞いた話があつて、それ元にして考えてるんだ。最初はね、ばあちゃんが子供の頃、まだあたしらしくらいの頃の話で、

ハナコ いやだから、

小夜子 物語は今から七三年前。福井大震災から始まります。

\*地震の轟音。

照明変化。

ハナコ、床に投げ出される。

小夜子 一九四八年六月二八日午後四時一三分。福井県福井市の北北東

約一〇kmを震源として地震が発生した。地震の規模はマグニ  
チュード七・一。

この地震は、三年前の福井空襲からようやく復興の途上にあつた福井市を直撃し甚大な被害をもたらした。死者二七六九人、負傷者は二万二〇〇〇人以上。

\*照明変化。

録音で声を流す。

録音 まつきつつあんとこは駄目や。ばあさんがおったはずやが大屋

根が落ちてもたさけ。

録音 きんさくさんとこもあかん。土蔵から何からぺっちゃんこや。

録音 このへんどこもかしこもおんなじや。うちもいつまた崩れるかわからん。

録音 またや。

録音 また一からやり直しや。

録音 世の中は、どうなってるんや。

小夜子 ばあちゃんの名前はハナコといました。

\*音楽。

小夜子 父さんはつぶれた家の中から蚊帳を引っ張り出してきました。

細かい網でできた、四角いテントみたいな奴。昔はこれを部屋の中につけて、蚊に刺されるのを防いだんです。神社の木の枝に引っかけてつりました。父さんとハナコはその蚊帳の中で寝ました。

\*ハナコ横になる。

星が出る。

ハナコ 父ちゃん。わたし、あんま落ち込んでないよ。

楽しいやん。

なんか楽しいやん。

星がよお見えるやん。

あたし、学校やめる。

学校やめて働く。

だいたい学校は嫌いやったし。

\*音楽終わり。

ハナコ、前を向いて、

ハナコ 英語なんてどうせ一生使わないし、数学なんかんで勉強しな

いといけないのかさっぱりわからんし、だいたい三角関数とか微分とか積分とか、あれいったいなんですか。





は自信があります。頑張っていきまっしょい！

ハナコ なにをがんばるのよ。

小夜子 よし子供を作ろう。

ハナコ はいー？

小夜子 すぐ作ろう。今作ろう。たくさん作ろう。

ハナコ あ、あのね、

小夜子 福井農林高校演劇部、ついに高校演劇のタブーを破る！ 見よ、

めくるめく生命の神秘！

ハナコ ちよ、ちよつと、

小夜子 大丈夫、照明落として真っ暗にしたらお客さんからは見えない

から、

ハナコ こ、こらー！

\*音響で赤ん坊の声。

小夜子 ちっ。

ハナコ 何考えてるんだ、おい。

小夜子 せっかくのチャンス。

ハナコ だから何を考えてるんだ。

\*小夜子、お面を外して、

小夜子 ハナコばあちゃんには幸せな家族ができました。

けれども、次の嵐はとっくにやってきました。「平和とは戦争の準備期間のことである」と誰かが言っていましたね。

一九五四年、当時改進黨に所属していた中曾根康弘議員他数名

- 17 -

により、原子力研究開発予算が国会に提出されています。この

ときの予算額が二億三五〇〇万円。これは原子炉で使用される物質ウラン二三五にあやかっただけです。なんだかなあ。

一九五五年には原子力基本法が成立、翌一九五六年には日本原子力研究所が茨城県那珂郡東海村に設置され、これ以降、ここが日本の原子力研究の中心地となっていきます。

\*照明変化。

そこは村の寄り合い。

小夜子、再びお面をつける。

小夜子 道も広くなるし橋もできる。

ハナコ 道路も舗装されたのになるんでしょう。

小夜子 信号機やら横断歩道やら歩道橋やらもできるぞ。

\*二人、宙を見る。

二人 歩道橋・・・。

小夜子 人もたくさん来る。まず原発を作る人間、それからそこで働く人間。見に来る人間もおるかも。

ハナコ その人らみんなが食べ物を買う。着る物を買う。

小夜子 ほしたら店が増える。ビルができる。もちろんエレベーターのついたヤツや。

\*二人、宙を見る。

- 18 -

二人 エレベーター・・・。  
小夜子 ちゅうわけで、賛成でええな。  
ハナコ 県の方でも話はいとるみたいやし。  
小夜子 交付金というのがだいぶおりらしい。

\*二人、宙を見る。

二人 交付金・・・。

ハナコ ほやけど。

小夜子 なんや。

ハナコ なんで交付金がでるんでしよう。

小夜子 なんてって、ほれはおまえ、あれや、ご苦労さん、いうことやろ。

ハナコ ご苦労さん？

小夜子 ほや。お国のために、ようやってくれた、ご苦労さんて。

ハナコ いや、ほやなくて。ほやなくて。

小夜子 なんや、まだなんかあるんか。

ハナコ うまい話には裏がある、いうでしょう。ほんまにそれ、信じていいんでしようか。

小夜子 なんやおまえ、疑い深いやつちやなあ。

ハナコ それです。ええことづくめのように聞こえるけど、あんたの仕事がでんようになつたりしませんか。この原発というのは、どうもええたいがしれん気がするんです。

小夜子 あのなあ、おまえなあ、

ハナコ ほやかてご苦労さんゆうのは、なんか大変なことがあるからやないですか。ゴミを拾ってご苦労さん、田んぼの草取りしてご

- 19 -

苦労さん、牛の世話してご苦労さん。ほしたら、これからわたしらは何してご苦労さんなんですか？

小夜子 歩道橋。

ハナコ う。

小夜子 エレベーター。

ハナコ う。

小夜子 交付金。

ハナコ ううう。

小夜子 ちゅうわけで、うちとしては、お願いします、でええな。

ハナコ うううう。

小夜子 ええな。

ハナコ ほやけど！ ほんまに、ほんまに危なくないんやろか、あれは！

小夜子 ええかげんにせえ！

\*照明変化。

音楽。

ハナコ 一九七〇年福井県敦賀原子力発電所一号機稼働。同年、福井県

美浜原子力発電所一号機稼働。一九七二年、福井県美浜原子力発電所二号機稼働。一九七四年、福井県高浜原子力発電所一号

機稼働。一九七五年、福井県高浜原子力発電所二号機稼働。一九七六年、福井県美浜原子力発電所三号機稼働。一九七九年、

福井県おおい原子力発電所一号機稼働。

小夜子 ちよつと「おおい」よね、福井県。

ハナコ 笑えんわ。

小夜子 じゃこんなのはどう。

- 20 -

「交通事故の年間の死者の数を数えて、自動車に乗るのをやめましょうとは言わない。やっぱり使った方が便利だからね。どうも原子力発電というリスクばかり言う傾向があるけれど、実際オイラたちはもつとリスクのある社会に生きています。変質者に刺される確率の方がよほど高いって。かっこ笑い」

ハナコ

小夜子

「原子力発電を批判するような人たちはよく『地震が来て原子炉が壊れたらどうなるんだ』とか言うじゃないですか。ということは、逆に原子力発電所としては、地震が起きても大丈夫なように、他の施設以上に気を使っているはず。だから地震が起きたら、本当はここに逃げるのが一番安全だったりする。かっこ笑い」

ハナコ

小夜子

タモリとかサンマとかとならぶ超有名なお笑い芸人。まあ、専門家でもないただの芸人の言うことなんだから真に受ける方が馬鹿だと思っけどさ。でもさ。いくら芸人でもさ。大人なら言っっちゃいけないことがあると思っけどさ。責任持たなきゃならないことがあると思っけどさ。間違っけどさ。それもあるよ。でもさ、間違っけどさ。間違っけどさ。反省するくらいのこととしてはしてほしいと思っけどさ。こどもだって謝るんだよ。でも北野タケシは大人なんだからさ。

ハナコ

小夜子

「今のは「つい口が滑った」？  
はい。つい口が滑りました。謝ります。かっこ笑い。  
こんなのもあるよ。」

「まあ原子力発電所が来る。電源三法の金はもらうけど、その

- 21 -

ほかに地域振興に対して裏金よこせ、協力金よこせ、というのがそれぞれの地域にある。お宮さんの修理のために原発、動燃、北陸電力に頼んで三億円できた。そんなわけで短大は建つわ、高校はできるわ、五〇億円で運動公園はできるわ。そりやもう棚ぼた式の街作りができる。そのかわり一〇〇年たつてカタワが生まれてくるやら、五〇年後に生まれた子供が全部カタワになるやら、それはわかりませんよ。わかりませんが、今の段階で原発をおやりになった方がよい」

ハナコ

小夜子

それ誰。  
敦賀市長。石川県の志賀町で原発建設の話が持ち上がったときに地元商工会に招かれてしゃべったらしいのね。直後にマスコミに漏れて世論の批判を浴びて次の選挙で落選したけど。

ハナコ

小夜子

そりやするよ。  
そうかな。でも、知らなかったでしょ。そんなことがあったって知らなかったでしょ。

ハナコ

小夜子

それは、  
あたしらはすぐ忘れちゃうんだよ。戦争も地震も原発も。すぐ忘れる。あたしらはそういう生き物なんだ。

ハナコ

小夜子

天災は忘れた頃にやってくる。  
二〇一一年三月一日。またそれはやってきた。

\*地鳴り。

照明変化。暗い部屋。テレビを見ている小夜子。手にはビールの缶。目が離せない。長めに。

ややあつて入ってくるハナコ。

- 22 -

ハナコ あかんよ、ビールなんか。

小夜子 ええんや。

ハナコ ええことないって。

小夜子 ええんや。

ハナコ もう。

\*しばらく間。

ハナコ ひどいのお。

小夜子 ハナコ、わしら、一緒になって何年や。

ハナコ なんやの突然。

小夜子 何年や。

ハナコ ちようど五〇年やねえ。一九六一年・・・元福井農林高校の玉村先生が生まれた年やから。

小夜子 誰やそれ。

ハナコ それでどうしたの。

小夜子 子供らも大きくなった。それぞれ家庭を持って子供がおって、まあまああつらひをしとる。

ハナコ そやね。

小夜子 わしも来年で八〇や。八〇年。わしの八〇年は何やったんやろう。

ハナコ どうしたの。

小夜子 わしは漁師やった。ほやけどやめた。やめて原発で働くようになった。そうやって生きてきた。

ハナコ ほや。

小夜子 ほやから子供らも大学まで行かせられたし、この村から出して

- 23 -

やれたし、おかげであいつらも嫁さんもらえた。もう滅多に村には帰ってこんけど。

ほやけどあのまま俺がピンボな漁師しててみい、今頃どうなつとったか。

ハナコ お金があつたら何でもできる。

小夜子 え。

ハナコ ほれで。ほれがどうしたの。

小夜子 とにかくわしはまちごてない。まちごたなんて、少しも思つて

ない。原発反対ゆうてプラカードもってデモなんぞやつとる奴らに何がわかる。都会でこのうのと電気つこて反対運動だけする、ほんな奴らに何がわかる。きれいごとばつかゆうてる奴らに何がわかる！

ハナコ あんた。

小夜子 ほれは今でも変わってない。今でも、ほの気持ちは変わってない。

みんな賛成しとるんやぞ。

村のもんも市長も県のエライさんもみんな賛成しとるんやぞ。

ほしたら賛成するのが当たり前やないか。

みんなのためなんやぞ。

みんなが幸せになるためなんやぞ。

ほれのどこがわるいんや。

ほやけどなんでやるな。

わしが、この全部なんもかんも、踏みつぶしたくなるんは、なんでなんやろな。

\*ちよつと間。

- 24 -

ハナコ ほんなことない。

小夜子 え。

ハナコ ほんなことない。

小夜子 え。

ハナコ あたしらみんな、幸せになりたかっただけや。その何が悪いの。

\*ハナコ、小夜子のビールを奪ってあおる。

小夜子 おいおい。

ハナコ それのなにがあかんの！

\*うつむくハナコ。

小夜子、ノートを閉じる。

照明変化。

小夜子 あのさ。

ハナコ なに。

小夜子 やっぱ戻ってきてくれない？

ハナコ 無理。

小夜子 そこをなんとかか。

ハナコ 無理。

小夜子 やっぱ勉強？

ハナコ うち、厳しいんだよ。

小夜子 でも。

- 25 -

ハナコ こないだの模試、すごく順位下げちゃって。そしたら、

「部活動なんかやってるからだ」

「将来俳優になるわけでもないのに、演劇なんかやってなんになる」

小夜子 おんなじだね。

ハナコ え？

小夜子 ごめん。あたし、あんたに謝らないと。実は、亜紀ちゃんは旅に出てないし、由美も空手の修行なんかしてないしよーちゃんも脱皮はしてない。あたし、あんたを騙してた。

ハナコ 大丈夫、全然騙されてないから。

小夜子 さっきラインに連絡があつて。みーんな、退部しちゃいました

ー！

ハナコ えー？

小夜子 それでその理由がみんな一緒でさ。勉強するんだって。将来の生活のために。演劇なんかやってる場合じゃないんだって。

ハナコ あのね。

小夜子 というわけで、もう少しつきあつてよ。

ハナコ あのね。

小夜子 もう少しだけ。ね。

\*蝉の声。

小夜子 「二〇二一年六月二三日、運転開始から四〇年を超えた関西電

力美浜原子力発電所三号機が、原子炉を起動して再稼働した。

一〇年前の福島第一原発の事故のあと四〇年を超えた原発が再稼働するのは全国で初となる。」

- 26 -

ハナコ うん。

小夜子 原発は法律で運転期間が原則四〇年に制限されてたんだ。でも国の審査に通れば例外的に最長六〇年まで運転延長が可能ってことになったの。

ハナコ うん。

小夜子 中古車でも修理すればまだ使えます、みたいな話。

ハナコ 詳しいじゃん。

小夜子 こんなの、スマホで調べたらすぐだよ。女子高生なめんな。

ハナコ そだね。

小夜子 車なら事故ですむけどさ。原発だよ。

ハナコ うん。

小夜子 あんなことあったのに。

ハナコ うん。

\* 蝉の声。小夜子、ノートを開く。

小夜子 さてここでお話は一気に一〇万年後の未来に飛びます。

ハナコ へ？

小夜子 ハナコばあちゃんは一〇万年後の地球に輪廻転生していたのでした！

ハナコ はあ？

小夜子 ついに物語はSFに突入します！

\* 「風の谷のナウシカ」のオープニングの曲。

ハナコ ちよ、ちよっと。

- 27 -

小夜子 「ユーラシア大陸の西のはずれに発生した産業文明は数百年のうちに全世界に広まり巨大産業社会を形成するに至った。大地の富をうばいとり大気をけがし、生命体をも意のままに造り変える巨大産業文明は一〇〇〇年後に絶頂期に達しやがて急激な衰退をむかえることになった。「火の七日間」と呼ばれる戦争

によって都市群は有毒物質をまき散らして崩壊し、複雑高度化した技術体系は失われ地表のほとんどは不毛の地と化したのである。その後産業文明は再建されることなく永いたそがれの時代を人類は生きることになった。」

\* 小夜子、石碑を持ってきて、村人になる。

小夜子 おお、姫様。ここにおられましたか。

ハナコ 何この設定。

小夜子 姫様、あまり自由に散歩かれては困ります。近頃は何かと物騒ですからな。

ハナコ それであたしは何をしたらいいわけ。いっとくけど王蟲と話もできないしメーヴェに乗って空を飛んだりもできないんだけど。

小夜子 誰が巨大ダンゴムシや一人乗り軽量飛行装置の話をしてるんですか。そんなことより謎の疫病の話です。

ハナコ 疫病？

小夜子 我が国に蔓延し、次々に命を奪っている、あの恐ろしい病気のことです。

ハナコ 病気？

小夜子 というわけで、冒険の旅へと出発です。

- 28 -

ハナコ いやいやいやいや。

小夜子 誰にも定めは変えられない。だがただ待つか自ら赴くかは決められる。その地に赴き、曇りのない眼で物事を見定めるなら、あるいはその呪いを絶つ道が見つかるかもしれない。

ハナコ だからパクるのはやめろって、

小夜子 行こうっ、おばさん！ 父さんの行った道だ！ 父さんは、帰ってきたよ！！

ハナコ やかましい！ 誰がおばさんじゃ！

小夜子 私も連れてって。泥棒はまだ出来ないけど、きつと覚えます！

ハナコ うるせえ、犯罪予備軍か！

小夜子 姫様、到着いたしましたぞ。

ハナコ 展開はやっ。

\*石碑には「ここ、あぶない」とでっかく書いてある。

ハナコ ここ、あぶない。

小夜子 おお、さすが姫様じゃ。誰にも解読できなかった難解な古代文字を。

ハナコ いやでもこれひらがなだから。

小夜子 一〇万年も経てばひらがななんか使っている人間は一人もいなくなっています。たとえばエジプトのピラミッドに刻まれている絵文字はそのすべてが解読されているわけではありませんが、せいぜい数千年です。古文の時間に習う源氏物語、アレを原文で読める人が日本に何人いるでしょう。アレなんかほんの一〇〇〇年です。一〇万年未来になったら、現在使用されている言語はすべて解読不能になっていると予測されています。

ハナコ あんた、誰に説明してんの。

小夜子 それでは姫様、これは、ここにはなんと書いてあるのでしょうか。

\*石碑の後ろ。そこにはもう少し細かい文字が。

ハナコ 「ここに原子力発電所の放射性廃棄物を埋める。未来の君たちにこのような負の遺産を残さなくてはならないことを本当に申し訳なく思う。我々の科学技術では放射性廃棄物を無害化することはついにできなかつた。以下の期間、慎重に管理し続けることを願う。安全レベルの目安、  
放射性セシウム・・・三〇年。  
プルトニウム・・・二万四千年。  
ウラン二三五・・・七億三八〇〇万年。

\*沈黙。

ハナコ ねえ、最近、この辺で地震があつたんじゃない。

小夜子 おお、ありました。この国は地震の多い国でして、家も城も崩れ、あちこちで地割れも・・・姫様、なぜそれをご存じなので？

ハナコ たぶん地下の保存容器が壊れたんだよ。それで中の放射性廃棄物がもれだして、

\*ハナコ、めまいがして座り込む。小夜子も続くように座り込む。

小夜子 姫様、それでどうしたら、この疫病を、鎮めることができるのでしょうか。

ハナコ 方法はないんだ。

小夜子 そんな、

ハナコ 放射性物質はできてしまったらもうどうしようもないんだ。ただ、埋めて隠して忘れるしかない。でも忘れても、なくなるわけじゃない。

小夜子 ひ、姫様。か、体が。

ハナコ ごめん、無理なんだ、あたしにはどうしようも、

小夜子 ああ、一度だけでも彼氏がほしかった！

待ち合わせして、彼氏が遅れてきて、自分は二時間前から待ってたんだけど、そんなこと全然なかったみたいな顔して、

「ううん、今来たところ」って言うてみたかった！

ハナコ あ、あのね、

小夜子 あと校舎の屋上に続く階段の途中で、

彼氏があたしを壁際に立たせて、

両手で壁をドンってやって、

「俺とつきあえよ」

って言われてみたかった！

ハナコ あんた、とつとと死んだら！

小夜子 どうか、未来の私たちのことを忘れないでください。こうやって失われていく未来のことを。こうやって、死んでいく未来のことを。どうか過去のみなさん、未来の私たちのことを忘れないでください・・・。

\*音楽。

照明変化。

星が見え始める。

小夜子 あー、駄目だー！

\*照明変化。

音楽止まる。

ハナコ こんな結末じゃ駄目だー！

小夜子 こんな劇じゃ駄目だー！

ハナコ 未来のことなんか誰も気にしてない！

小夜子 心に響かないー！

ハナコ ねえ、そうですね。そんな未来のこと考えて生活してないですよね。電気もガソリンも使いたい放題使ってますよね。プラスチック製品もばんばん使ってますよね。ペットボトルのジュースとか飲みますよね。それでその辺にポイ捨てしてますよね。気にしてないですよね。

小夜子 この演劇祭だって、原発からのお金ナンボか流れ込んでるんですよ。あたしたち原発のおかげで劇がやれてるんです。これって馬鹿みたいですよね。

ハナコ 照明だの音響だの冷房だの、そのためにどんだけの電気を使ってるんだって話だよ。それでどんだけCO2が増えてんだって話だよ。

小夜子 演劇部ってたくさん紙使いますよね。脚本印刷したりして紙使いますよね。その紙はどうやって作ってるんでしょう。あたしらどんだけの森林を食いつぶしたんでしょう。

ハナコ あたしらは何も考えてない。考えたことない。明日のハナコた

ちがどんだけ苦勞するか、そんなこと考えたことない。ああ。  
こんな劇作ったって何にもならない。何も変わらない！ 誰も  
未来のことなんか気にしない！ みんな今で精一杯自分のこと  
で精一杯お互いを傷つけるので精一杯！

小夜子 駄目だー！

ハナコ 駄目だー！

小夜子 わあああああああ！

ハナコ うわあああああ！

\*二人、走り回り、叫び、装置を破壊する。

へとへとになってひっくり返る。

しばらくして。

ハナコ あたし、演劇部やめる。マジで。

小夜子 そう。

ハナコ もう劇はやらない。

小夜子 そう。

ハナコ あたしは勉強する。勉強して、勉強して、偉くなって、それで

この世界を変えてみせる。

小夜子 あたしは、演劇部に残る。マジで。

ハナコ そう。

小夜子 あたしは劇を作る。

ハナコ そう。

小夜子 あたしは劇を作る。作って、作って、作りまくって、そこでこ  
の世界を変えてみせる。

ハナコ そんなの無理に決まってるだろ、ばーか。

小夜子 あんたこそ、無理に決まってるだろ、ばーか。

ハナコ 勝負は、

小夜子 一〇万年後だな。

ハナコ+小夜子 おう。

\*ハナコ、歩き出す。

小夜子、ノートを広げて書き出す。

緞帳降りる。

おしまい。

\*参考図書

小出裕章 「一〇〇年後の人々へ」 集英社新書

武田邦彦 「全国原発危険地帯マップ」 日本文芸社

小出裕章他 「原発再稼働の深い闇」 宝島新書

佐高信 「原発文化人五〇人斬り」 朝日新聞社

参考映画

「風の谷のナウシカ」「もののけ姫」「天空の城ラピュタ」

「ルパン三世 カリオストロの城」

聞き取り

玉村幸子